

令和6年度 第4回 校章・校歌検討部会、標準服等検討部会 報告書

1 開催概要

日時：令和6年9月2日（月）15：45～17：15 /場所：旭丘中学校仮設校舎 多目的室

2 開催内容

- (1) 校章デザインの選定について
- (2) 標準服導入の検討について

3 当日の主な意見等と区の考え方

[校章デザインの選定について]

【校章制作者 堀田英子先生の説明】

- デザインを考えるにあたっては、応募されたイメージが学園名に由来するものが圧倒的に多かったこと、具体的なイメージとして鳥、翼、羽、青空、白い雲、未来にはばたくイメージなどが挙げられていることを参考にして検討した。
- なるべく広い範囲で選んでもらった方が良いと考え、5案提示した。

【主な意見・部会長まとめ】

- 部会委員の意見では、2案に絞られた。
- 本日の部会の議論で決定することもできるが、タブレットによる投票であれば、子どもたちの意見で決定する時間はある。
- 2案を3校の子どもたちに提示し、投票により選んでもらうこととする。

[標準服導入の検討について]

【主な意見・部会長まとめ】

- 前回の議論を踏まえると、大きく7パターンに分かれるとのことだった。
- ファストファッションの店から購入する場合、割引の適用や校章を付けるには学校が取りまとめる必要があるが、学校の負担を考えると現実的には簡単ではない。また、廃番になった場合には、別のものを購入することになる。
- 標準服のアンケート結果も踏まえ、中学校の教員で意見をまとめたところ、「メーカー自由で一定のものを揃える」形が良いと考えている。学校としては、外出時など安全管理という面では服装が揃っているに越したことはない。

- 子どもも着用基準を議論する、将来的にも子どもが議論し続けていくことが重要。
- 一定のものを揃えるという意味で、「従来型の標準服」「ファストファッションのメーカーの服」「メーカー自由のもので着用基準を定めたもの」の中から、「メーカー自由のもので着用基準を定めたものを導入」とする。今後はその詳細について決めていく。